

SB・JR西が自動運転・隊列走行バス用の試験走路建設

Edited By LogisticsToday On 2020/03/23

ソフトバンクと西日本旅客鉄道（JR西日本）は23日、自動運転と隊列走行技術を用いた「バス高速輸送システム」（BRT：Bus Rapid Transit）の開発プロジェクトを開始する、と発表した。

「みんな（MI-NNA）の自動運転BRTプロジェクト」と名付けられた同事業は、異なる自動運転車両がBRT専用道内で合流して隊列走行する技術の確立を目指すもので、両社はJR西日本が保有する滋賀県野洲市の敷地内にテストコースを建設し、2021年度以降に実証実験を開始。2020年代半ばを目標に技術を確立する。



▲両社のプロジェクトが目指す未来のイメージ（出所：ソフトバンク）

プロジェクト名の「みんな（MI-NNA）」は、Mobility Innovation - Next Networked Actionの頭文字をとったもので、安全で持続可能な次世代モビリティサービスを実現する「自動運転・隊列走行BRT」の実用化と、「まちづくり」と連携した持続可能な交通サービスの実現——という同事業のビジョンを意味している。

■プロジェクトのスケジュール

「自動運転・隊列走行BRT」の基本仕様決定：2020年4月末

車両発注・改造、テストコースの着工：2020年度

テストコースでの実証実験開始：2021年度以降

技術確立：2020年代半ば

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/371501>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト。All rights reserved.